

大門一男 おほらひと 繙譯家。明治四十一年九月一日茨城縣大洗生れ（元
 九一）。東京府立第二中學校卒。雑誌『新映畫』を編輯、次でエチネ
 ト映畫官俱樂部勤務を経て東寶に入り、宣傳誌『コエスエス』の編輯に從
 事。ゆづり興商會出版部を設立、處女出版のジュール・ロマン著『歐
 羅巴七つの謎』（清水俊一譯、昭和十六年二月十日刊）がベストセラ
 ーとなる。戦中二度應召、終戦の翌年復員し、文藝雑誌『風雪』、『小
 説ハム園』を編輯。

譯書、エラリネ・クキーン作『西班牙岬の秘密』（昭和十年十一月）
 『白鷺台書房』、『東京探偵傑作叢書』（、スタインズック作『甘日鼠と
 男たち』（昭和十四年十月）、『白鷺台書房』、『アメリカ文藝傑作選』（、
 『亞米利加作家撰集』（共譯、昭和十五年八月）、『スタスタ社』、
 シモン・スタインズック作『氣まぐれバス』（昭和二十六年七月）、『キ
 ン出版社』。再刊、四十年八月十日新潮社『新潮文庫』（、同『二
 十白鼠と人間』（昭和二十七年一月）、『キム出版社』。再刊、二十
 八年十月十日新潮社『新潮文庫』（、ミルン作『赤色館の秘密』（昭
 和二十一年四月）、『二十九日新潮社』探
 偵小説文庫』、再刊、二十二年八月
 （二十五日）『新潮文庫』（、ウオール
 デン作『全訳ハンクの高校時代』（昭
 和二十四年十一月十五日秋元書房）、
 アガサ・クリステイ作『コパデイン
 トン発4時50分』（昭和二十五年十
 二月十五日早川書房『HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS』）、A・E・



W・メイソン作
『笑の家』
『等』

(昭和二十六年)二月五日新潮社「新潮文